

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」

～ 夢と自信と思いやり ～

多治見市立共栄小学校 R3. 1. 29

【掃除にみる成長の姿】

校長 宮地敏彦

今年度、共栄小学校では“もくもく掃除”を活動の四本柱に位置づけて、伝統化しようと取り組んでいます。「掃除で心は育つ」のか？「掃除が変わると学校は変わる」ものなのか？児童の姿の変容や心の変化を5,6年生の“キャリアパスポート”の記述から探ってみました。（児童の声を抜粋して掲載します。）

※“キャリアパスポート”とは、キャリア教育に係る諸活動について、学級活動を中心として、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自分自身の姿や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。小学校入学から高等学校卒業までの記録を蓄積して、学年、校種を越えて持ち上がるものです。



<5年生階段掃除>

《もくもく掃除を通して成長したところ》

- ・隅々まで丁寧にやるようになった。 ・集中力がついた。
- ・しゃべらなくても仲間が何を言いたいかわかるようになった。
- ・いろいろ学び“舌のコントロール”ができるようになった。
- ・掃除以外でも進んでゴミを拾えるようになった。
- ・以前は指示されたところしかできなかったけど、今はいろんな所に目を配り、汚れの落とし方などを判断してできるようになった。
- ・仲間のできないところもしっかりやってあげられるようになった。
- ・集中して掃除できるようになり「もくもく掃除はすごい！」と思った。



<1年生教室掃除>

《もくもく掃除から学んだこと》

- ・もくもく掃除をすると達成感や充実感が得られるから、他のことでも目標を決めようと思った。
- ・「こんなにも人は静かになるのか!？」ということを実感した。
- ・掃除だけで高いチームワークを得るのは難しいと思っていたけど、本当に高いチームワークを得られるんだと感じた。
- ・集中力が上がり、体幹を鍛えることができた。
- ・もくもく掃除はメリットがたくさんある。授業に生かすこともできるし、生活する上で大切な力を身につけられる。
- ・他の人のことを考えて掃除すると細かい所までしっかりと掃除できる。

《将来なりたい自分の姿》

- ・進んでゴミを拾い、環境をきれいにしていく人。
- ・ボランティアなどにも参加できる人になりたい。
- ・視野を広くし、困っている人がいたら気づいてあげられたり、優しくできたりする人になりたい。
- ・人のいやがる仕事でも喜びを見つけ、自分から進んで行動できる人になりたい。
- ・どんな仕事についても社会で役立ち信頼される人、積極的に掃除をする人になりたい。
- ・目立たなくてもいいから、誰もが「ここにいたい」と思える掃除をしたい。
- ・無駄口をしないで、いろんなことを静かに行う。それで時間を無駄にせず信頼されるようになる。
- ・耳や口の不自由な方達とも心を通じ合える人。

児童は声のない静寂の中で、いろんな気づきや発見をし、ひたむきさに価値を見いだしているようです。わずか15分間の活動…たかが掃除、されど掃除。確実に学校が変わりつつあることを実感しています。

【“ひとつまみの心”でさわやか笑顔】

1月19日（火）の下校後、重そうな大きな袋を持った二人の男子（5年：加藤睦基さん、糸魚川大翔さん）の姿が校長室の外にありました。袋の中身は空き缶や泥にまみれた空き瓶、その他ポイ捨てされたゴミでした。通学路にもなっている、学校下にある喫茶店周辺にポイ捨てされているゴミが目につき、家から袋を持ってきて拾い始めたのです。次の日の20分休みには、5年生の他の仲間達も加わってそれらのゴミをしっかりと分別してくれました。捨てられたゴミは汚れていて誰も手を伸ばしたがありません。しかし、2人の男子の顔はとてもさわやかでした。

共栄小学校がどんどん広めていきたい姿に“ひとつまみの心”の実践があります。彼らが姿で見せてくれた“ひとつまみの心”に感動しました。

そして、5年生児童の頼もしい姿に、4月から共栄小をリードする最高学年の姿が重なりました。



<ゴミ拾いボランティアの5年男子>